

令和元年度  
さいたま市文化財保護審議会資料  
—第1回—

日時 令和元年5月29日(水)14時～

会場 さいたま市立中央図書館ミーティングルームB

さいたま市教育委員会

# 目次

## 議 事

### (1) 報告事項

第1号 令和元年度文化財保護及び保存事業の概要について・・・1

### (2) 諮問事項

第1号 「氷川参道の並木」の一部指定解除について・・・4

第2号 市指定文化財の名称変更について・・・5

①考古資料 弥生式土器つぼ [第6号(浦)]

②考古資料 弥生式土器台付かめ [第7号(浦)]

③考古資料 弥生式土器脚付かめ [第9号(浦)]

④史跡 浦和宿石橋と供養仏

⑤天然記念物 コルクガシ

\*さいたま市文化財保護審議会 平成30年度第2回会議 議事録・・・7

## 議 事

### (1) 報告事項

#### 第 1 号 令和元年度文化財保護及び保存事業の概要について

##### 1 文化財保護審議会

###### 会議

- 第 1 回「令和元年度文化財解除諮問」他 令和元年 5 月 29 日
- 第 2 回「令和元年度文化財解除審議」他 令和 2 年 1 月 予定

##### 2 文化財の調査

- (1) 指定候補調査
- (2) 指定文化財の調査
  - ア 国指定文化財調査
  - イ 県指定文化財調査
  - ウ 市指定文化財調査
- (3) 一般調査

##### 3 文化財保存事業(補助金交付事業)

- (1) 国指定
  - ア 重要無形民俗文化財「岩槻の古式土俵入り」後継者育成・公開  
／釣上の子ども相撲土俵入り保存会
- (2) 県指定
  - ア 有形文化財(典籍)「紙本墨書大般若波羅蜜多經」裏打ち修理
- (3) 市指定
  - ア 無形民俗文化財「日進餅つき踊り」後継者育成・公開
  - イ 無形民俗文化財「鹿手袋の祭ばやし」道具修理
  - ウ 天然記念物「氷川参道の並木」保護事業

##### 4 指定文化財の普及啓発

- (1) 刊行物
  - ア 文化財時報「櫃りぼーと」(第 73 号～第 76 号)
  - イ 文化財保護年報(平成 30 年度)
  - ウ 文化財調査報告書 13 集
- (2) 啓発事業
  - ア 見沼通船堀閘門開閉実演  
令和元年 8 月 21 日(予定)

- イ 鈴木家住宅附属建物の公開 通年（毎週土・日曜日）
- ウ サクラソウ Weeks2019  
令和元年 3月 27 日から 4月 21 日  
会場／田島ヶ原サクラソウ自生地、桜区役所
- エ 与野文化財資料室の公開 10月まで
- オ 指定文化財特別公開（11月、4か所を予定）

## 5 市所有文化財の管理

- (1) 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」
  - ア 開花期の監視・普及活動
  - イ 株数調査
  - ウ 外来植物等の除去
  - エ 草焼き
  - オ 自然科学分析（DNA 解析・土壌分析・水分量光量子調査）
  - カ 樹木の剪定・伐採
  - キ 灌水実験
- (2) 国指定史跡「見沼通船堀」
  - ア 通常管理 草刈・樹木剪定
  - イ 清掃業務、鈴木家住宅防災設備点検
  - ウ 鈴木家住宅附属建物公開に伴う管理、東縁休憩施設維持管理
  - エ 東縁再整備工事及び西縁詳細設計（国庫補助事業）
- (3) 国指定史跡「真福寺貝塚」
  - ア 通常管理 草刈・樹木剪定
  - イ 指定地の地下水位データ計測
  - ウ 整備に向けた指定地の発掘調査（国庫補助事業）
  - エ 土層剥ぎ取り（国庫補助事業）
  - オ 泥炭層ボーリング調査（国庫補助事業）
  - カ 指定地の拡大
  - キ 指定地の公有地化（国庫補助事業）
- (4) 県指定史跡「馬場小室山遺跡」
  - ア 通常管理 草刈・樹木剪定
- (5) 県選定重要遺跡「五味貝戸貝塚」
  - ア 通常管理 草刈
- (6) 市指定史跡「側ヶ谷戸古墳群」
  - ア 通常管理 草刈・樹木剪定
- (7) 市指定有形文化財「時の鐘」鐘楼用地
  - ア 通常管理 草刈・樹木剪定

## 6 埋蔵文化財の調査・保存

- (1) 開発事業との調整
- (2) 確認調査等の実施（国庫補助事業）
- (3) 発掘届の受理・指示
- (4) 市内遺跡発掘調査（国庫補助事業）の実施
- (5) 出土品再整理・再収納（国庫補助事業）の実施
- (6) 出土品の鑑査及び文化財認定
- (7) さいたま市遺跡調査会による発掘調査の指導

## 7 埋蔵文化財の普及啓発

- (1) 土器の館の公開
- (2) 与野西遺跡出土「和同開珎」特別公開  
令和元年6月4日から令和元年6月16日  
会場／さいたま市立博物館
- (3) 最新出土品展（国庫補助事業）  
令和元年9月3日から令和元年11月24日（予定）  
会場／さいたま市立博物館、コクーンシティⅡ他
- (4) 市内遺跡発掘調査成果発表会（国庫補助事業）  
令和元年9月7日  
会場／さいたま市立博物館講座室
- (5) 発掘調査報告書の刊行  
ア さいたま市内遺跡発掘調査報告書第19集  
イ 真福寺貝塚発掘調査概報
- (6) 真福寺貝塚発掘調査現地説明会  
令和元年10～11月実施予定  
会場／真福寺貝塚
- (7) 真福寺貝塚体験発掘  
令和元年9～11月実施予定  
内容／事前学習、現地における発掘体験  
対象／地元小学校の児童と保護者  
会場／地元小学校、真福寺貝塚

## (2) 諮問事項

### 第1号 市指定天然記念物「氷川参道の並木」の一部指定解除について

指定名称 氷川参道の並木 (E154)

種別 天然記念物

所在地 さいたま市大宮区浅間町1丁目

所有者 宗教法人 氷川神社

本木(ケヤキ)は以前より腐朽菌に侵され、主幹は樹皮の8割方が枯死していた。主幹には処置が施されており、ウレタンで補修の跡も見られたが、残った健全な樹皮は十分に巻き込みを行えず、腐朽は進行していったものと判断する。また、昨年あたりからより強力な腐朽菌(ベッコウタケ)が根際に着生し、ますます腐朽は進んでいったものと考えられる。材の部分も腐朽し、根元から判断できる範囲では断面積の半分以上がスポンジ状となっており、物理的に本木を支えることはできない状態になっていることも今回の調査で判明した。また、根系も侵されていることも明らかとなった。根系が侵されると十分な吸水もできないので、腐朽菌に対抗する化学物質も作れない。腐朽の進行は止められず、近い将来枯死の怖れがある。回復はまず無理だろうと考えられる。

また、樹皮の無事な部分が少しでもあれば葉を出して光合成もできるが、本木は主幹や根系の材が侵されているので、完全に枯死しなくても、現在の状況は内部が空洞であるも同様に倒壊の怖れがある。プレーシングや支柱で物理的に倒壊を防ぐ手立てもあるが、場所的に困難で諦めざるを得ない。倒壊した場合は人的被害も十分にありうる。残念ながら倒壊防止のため伐採はやむを得ない。現状変更許可申請の手続きを経て、4月9日から4月13日にかけて伐採が実施された。



▲伐採前(平成31年2月26日撮影)



▲伐採後(令和元年5月10日撮影)

## 第2号 指定文化財の名称変更について

下記の指定文化財の名称変更について、貴審議会の御意見を求めます。

① 考古資料 弥生式土器つぼ【第6号（浦）】

指定年月日：昭和33年3月1日

指定理由：弥生時代の典型的なつぼ。弥生文化を知る上で貴重な資料である。

現状：古墳時代初期の土師器に属するものと考えられる。

名称変更案：別所遺跡出土壺形土器



② 考古資料 弥生式土器台付かめ【第7号（浦）】

指定年月日：昭和33年3月1日

指定理由：弥生式土器の特徴を備えたもので、弥生文化を知る上で貴重な資料である。

現状：古墳時代初期の土師器と考えられる。

名称変更案：大間木宮前遺跡出土台付甕形土器



③ 考古資料 弥生式土器脚付かめ【第9号（浦）】

指定年月日：昭和33年3月1日

指定理由：弥生式土器の特徴を備えたもので、弥生文化を知る上で貴重な資料である。

現状：古墳時代前期の土師器（五領式土器）。

名称変更案：白幡本宿遺跡出土台付甕形土器



④ 史跡 浦和宿石橋と供養仏

指定年月日：昭和34年3月31日

指定理由：浦和の三橋の存在を立証するのみならず、当時の民間信仰の内容、浦和宿の構造を示す貴重な資料。また、供養塔に道標を兼ねている例は、ほとんどなく、極めて重要な価値を持つ。

現状：石橋は存在しない（指定当時には、すでに橋は存在せず）。

石碑の銘文は「奉造立石橋並道普請供養佛」

名称変更案：石橋並道普請供養仏



⑤ 天然記念物 コルクガシ

指定年月日：昭和44年5月11日

指定理由：高さ9メートル、根回り1.8メートル。コルク層が良く発達している。

特殊林業見本として保存の価値がある。

※指定当時は、コルクガシとアベマキを同一の樹木と考えていた。

現状：コルクガシはブナ科コナラ属の常緑高木。アベマキはブナ科コナラ属の落葉高木。指定の木は落葉することから「アベマキ」である。

名称変更案：アベマキ

